



S.Naka

## THE KISARAGI SHO

## 第65回 きさらぎ賞 (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着  
 本 賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円  
 付加賞 364,000円 104,000円 52,000円



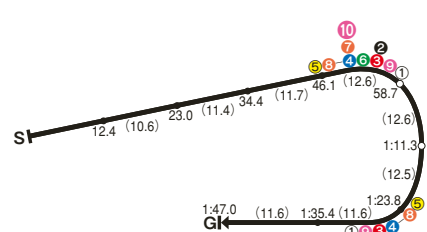
レース映像は  
 コチラでご覧  
 いただけます。

3歳、除未出走馬および未勝利馬  
 負担重量 馬齢重量

2025.2.9 京都 晴・稍重 芝1800m (国産) (特指)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナ 通過順位 (600m)	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーテ ィング
1	⑩	サトノシャイニング	牡 3	57	西村淳也	1:47.0	6-6	35.1	492(±0)	2.7①	杉山晴紀(栗東)	113
2	②	リンクスティップ	牝 3	55	M.デム-ロ	3-2	35.9	472(-2)	6.8③	西村真幸(栗東)	103	
3	⑦	ランスオブカオス	牡 3	57	吉村誠之助	クビ	6-6	35.6	498(±0)	6.9④	奥村 豊(栗東)	106
4	⑧	ショウヘイ	牡 3	57	川田将雅	3	5-4	36.3	458(-4)	3.2②	友道康夫(栗東)	101
5	⑤	スリーキングス	牡 3	57	岩田康誠	クビ	9-9	35.8	500(-2)	44.6⑨	上村洋行(栗東)	
6	⑥	エリカアンディーヴ	牝 3	55	松山弘平	2	10-10	35.9	488(+4)	11.3⑤	吉岡辰弥(栗東)	
7	③	ヒルノハンプルク	牡 3	57	坂井瑠星	¾	3-4	36.8	468(+2)	76.8⑩	武 英智(栗東)	
8	④	ミニトランザット	牡 3	57	鮫島克駿	3	6-6	37.2	468(±0)	11.9⑥	杉山佳明(栗東)	
9	①	ジェットマグナム	牡 3	57	丹内祐次	½	1-1	37.8	488(±0)	22.1⑦	安達昭夫(栗東)	
10	⑨	ウォーターガーベラ	牝 3	55	団野大成	クビ	2-2	37.6	442(-4)	32.8⑧	河内 洋(栗東)	

単勝⑩270円(1¼) 複勝⑩120円(1¼) ②200円(4¼) ⑦180円(3¼) 枠連②-⑧920円(3¼)  
 馬連②-⑩940円(3¼) ワイド②-⑩380円(3¼) ⑦-⑩340円(2¼) ②-⑦710円(10¼)  
 馬単②-⑩1,550円(4¼) 3連複②-⑦-⑩1,990円(5¼) 3連単②-②-⑦6,300円(12¼)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m  
 34.4 - 46.1 - 58.7 48.3 - 35.7

### アラカルト

- ・西村淳也騎手はきさらぎ賞初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算12勝目
- ・杉山晴紀調教師はきさらぎ賞初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算23勝目
- ・キズナ産駒はJRA重賞通算39勝目

## サトノシャイニング Satono Shining

牡 黒鹿毛 2022.2.4生  
北海道日高町 下河辺牧場生産  
馬主・里見治氏 栗東・杉山晴紀厩舎  
馬名意味・冠名+光を放つ

スウィーティーガールARG系 F9-F

キズナ 青鹿毛 2010	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	キャットクイルCAN 鹿毛 1990	Storm Cat Pacific Princess
スウィーティーガールARG Sweetie Girl 鹿毛 2012	Star Dabblers 鹿毛 2003	Saint Ballado Meadow Silk
	Santiago 鹿毛 2002	Deputy Commander Santiago Blue

5代までのインブリード：Halo S4×M4

## INTERVIEW

下河辺行雄代表(下河辺牧場)

### しっかりとした体形の健康優良児でした

折り合いが課題となるレースだと思っていましたが、無事にクリアしてくれたので最後は安心して見ていられました。母馬はアルゼンチンのマイルG 1勝ち馬でスッキリとした体形をしています。配合相手の特長を出してくれます。サトノシャイニングは生まれた時からしっかりとした体形の健康優良児でした。このまま無事に皐月賞を迎えてくれることを願っています。

S.Suzuki



キズナ産駒の本馬は昨年9月の新馬戦を好位から抜け出して快勝、続く東京スポーツ杯2歳Sはスタート直後に落鉄しながら、クワデユノールの2着に食い下がり、素質の高さを印象付けた。押し出されるように逃げた前走とは一転、差しに構えたこの日は初の右回りコースも問題とせず、申し分のない内容で3歳の始動戦を白星発進。まだ「勝負付けが済んだ」とはいえない2歳王者との再戦に期待が膨らむ。

しっかりと脚が溜まっていたサトノシャイニングは2頭を凌駕する末脚を発揮。一気に先頭へ突き抜けると、2着争いに競り勝ったリンクスステップに3馬身のリードをつけて悠々とゴールを駆け抜けた。

積雪の影響で開催中止となった土曜日(月曜日に代替)とは打って変わって、好天に恵まれた日曜日の京都競馬場。10頭の出走馬中、2勝馬は1頭のみというメンバー構成で争われたきさらぎ賞は1勝馬が中心勢力を形成し、東京スポーツ杯2歳Sの2着馬サトノシャイニングと、同舞台の新馬、未勝利戦で好走2、1着を重ねてきたシヨウヘイが拮抗した支持を集めた。喜れの未勝利戦を中身の濃い内容で勝ち上がった牝馬リンクスステップ、朝日杯フューチュリティSの3着馬ランスオブカオスがこれに続いたものの、結果はサトノシャイニングが完勝。春の大舞台に向けて弾みをつけた。

先手を奪ったのは唯一の2勝馬ジェットマグナム。除雪明けの芝コースに少し速いラップが刻まれていくなか、互角の勢いで飛び出したリンクスステップは3番手に控え、シヨウヘイがその直後を進む。大外枠を引いたサトノシャイニングの西村淳也騎手は五分のスタートから徐々に位置を下げ、中団で折り合いに専念。その背後につけたランスオブカオスはペースが緩んだ坂の上りから前に接近し、4コーナーでは凝縮した馬群の一団に加わった。

直線に向くとジェットマグナムは失速、かわって先頭に立ったリンクスステップにランスオブカオスが襲い掛かる。しかし馬群の外々を回りながらも、

## 父キズナ

北海道新冠町 株式会社ノースヒルズ生産 中央、仏14戦7勝(日本ダービー<sup>G1</sup>、大阪杯<sup>G1</sup>、京都新聞杯<sup>G1</sup>、ニエル賞・仏<sup>G2</sup>、毎日杯<sup>G1</sup>)、最優秀3歳牡馬、16年から供用。24年日本リーディングサイヤー、23、24年日本2歳リーディングサイヤー(代表産駒)ジャスティンミラノ(皐月賞<sup>G1</sup>、共同通信杯<sup>G1</sup>)、ソングライン(安田記念<sup>G1</sup>2回、ヴィクトリアマイル<sup>G1</sup>、富士S<sup>G1</sup>)、アカイト(エリザベス女王杯<sup>G1</sup>)、ディーブボンド(阪神大賞典<sup>G1</sup>2回、フォウ賞・仏<sup>G2</sup>、京都新聞杯<sup>G1</sup>、天皇賞(春)<sup>G1</sup>2着3回、有馬記念<sup>G1</sup>2着)、パスラットレオン(ニュージランドトロフィー<sup>G1</sup>、ゴドルフィンマイル・首<sup>G2</sup>)、シックスセンス(毎日王冠<sup>G1</sup>、スプリングS<sup>G1</sup>)、マルタースディオサ(チューリップ賞<sup>G1</sup>、紫苑S<sup>G1</sup>)、クイーンズウォーク(ローズS<sup>G1</sup>、クイーンC<sup>G1</sup>)、アスクワイルドモア(京都新聞杯<sup>G1</sup>)、ジュンテイク(京都新聞杯<sup>G1</sup>)、サンライズジバング(不来方賞<sup>I</sup>、みやこS<sup>G1</sup>)、他に重賞勝ち馬多数

## 母スウィーティーガールARG

亜、北米11戦4勝(ボトランカス大賞・亜<sup>G1</sup>、エリセオラミス賞・亜<sup>G2</sup>)、17年輸入

エレファンティネ(18 牝父American Pharoah)持込 中央9戦2勝

サトノリーベ(19 牝父ディーブインバウト)中央20戦1勝

</